

■第2回大竹市まちづくり基本構想策定審議会（書面審議） 委員意見

委員	ページ・内容	意見	基本構想への反映
A委員	全体	・説明文の文字を全体的にもう少し大きくしてはどうか。	・可能な範囲で対応します。
	全体	・イラストに、もう少し大竹市の特徴・個性を加えられないか。 【例】市民が愛着を持つ施設、特産品、歴史、文化、商工業など。	・P1～2の未来の大竹の様子には、三倉岳や小瀬川、亀居城址、晴海臨海公園、手すき和紙の里、阿多田島、ハマチなどを描いています。 ・その他のページで市の特徴を表現するのは難しいですが、P10～11の分野別取組宣言の分野名の立て札を、各分野の特徴を表すアイコンとなるようデザインを工夫します。
	P3～6 8つの幸せ	・8つの幸せが見開きで一覧になり分かりやすくなったと思う。ただ、各々の視覚的なインパクトが欲しい。 【例】自然（海・山or生き物）、笑顔（仲間など「人」）、活気（商工業）、子育て（子ども）、安心（病院・福祉）、安全（交通など）、大好き（歴史・文化）、学び（学校）を説明するイラストなど。	・コイのイラストは、それぞれの幸せの内容を表現したデザインとなっていますが（「豊かな自然」→模様で「山・川・海」をイメージ、「笑顔と優しさ」→ヒレがハートの形など）、分かりづらいものもあるため、一部デザインを変更します。
B委員	意見なし（個人的には理想を幅広く記載するよりも、重点的な政策を具体的に記載すべきと思うが、そういうことではなさそうなので）		
C委員	全体	・審議会での意見がよく反映されていて良いと思う。最初の資料より見やすく理解しやすいものになっている。 ・ストーリーを知っている人は分かると思うが、知らない人が見た時にどれだけ理解してもらえるかが重要だと思う。	・ナビゲーターや登場人物のセリフを整理し、より伝わりやすくなるよう検討します。
	表紙	・「今日はコイ型ロボットで空中散歩しよう」を「今日は未来の大竹市をコイ型ロボットで空中散歩しよう」に変更したほうが、導入部分で理解されやすいと感じた。	・表紙の時点で既に時間軸が「未来」であり、「未来の大竹市」と表現すると、現在と混同してしまう可能性があるため、P1～2で、「時間軸が未来であること」をセリフで示すこととします。
D委員	全体	・絵本というより教科書のような印象がある。	・絵本そのものを作るのではなく、絵本のような雰囲気で見せたいことが目的であり、計画の内容の説明を入れている分、教科書のような印象を与える面もあると思われます。
	全体	・コイちゃんとナビゲーターのコイが重複して分かりづらい気がする。ナビゲーターのコイは1人でも良い気がする。 （不要なコイちゃんは消してみたらどうか。コイのアピールが多過ぎないか。）	・コイちゃんのイラストは、イラストレーターのタッチで隠れキャラのように他のイラストに忍ばせるので、今よりも目立たない感じになる予定です。 ・ナビゲーターのコイについては、2匹の役割が若干曖昧な部分があるため、2匹をセットにし、大人のコイのみが説明する形に修正します。
	P9～10 分野別取組宣言	・「〇〇のまち」の「まち」は、ほぼすべての意見につくと 思うので、削除したほうが分かりやすい気がする。	・文言自体を変える必要があるため、このままとさせていただきます。
	P9～10 分野別取組宣言	・孫と祖父母の配置は、P10の右上に持ってくるなど、宣言の主張を邪魔せず、かつ各自のコメントがどこから（誰から）発せられたかが分かりやすいとよいと感じる。	・それまでのページで、端や上の方にいた登場人物を意図的に中央に配置し、よりズームされたレイアウトとしているため、配置はこのままとします。 ・どの登場人物のセリフかが分かるよう、セリフの頭に人物の顔をアイコンとして示すこととします。 【例】👤「昔とはだいぶ変わったねえ」
E委員	意見なし		
F委員	意見なし		
G委員	意見なし		
H委員	P3～6 8つの幸せ	・見開きにしたのはとても見やすくなったと思う。	
	P9～10 分野別取組宣言	・分野別が分かりづらい。フォントを変えるとか色を乗せると良いかなと。（これは今からでしょうか）あと、お花の文字スペースに薄く色を塗る（文字が読める程度）とか、文字の頭だけ大きくするとか、工夫がほしい。	・デザインを仕上げる中で、より見やすくメリハリのあるデザインとなるよう努めます。
	裏表紙	・吹き出しの中の横に長い文字は視覚的に読みづらい。句点・読点のところで改行してもよいのでは。	・改行位置などを工夫し、読みやすくします。

■第2回大竹市まちづくり基本構想策定審議会（書面審議） 委員意見

委員	ページ・内容	意見	基本構想への反映
I委員	全体	・紙面の都合があると思うので言いづらいが、この基本構想ができた目的・主旨を、まえがき・うしろがきなどで添えてみてはどうか。	・当初は策定の経緯などの掲載も検討していましたが、情報量が多過ぎてイラストや全体の雰囲気と噛み合わないため、掲載しないこととしました。 ・紙面で伝え切れない部分は、基本計画への掲載や、広報やホームページなどで伝えることで補完することも検討したいと考えています。
	全体	・点字版やルビ入りもあれば、障害を持たれている方などにも理解してもらえるのではと思う。	・ルビについては、小学5年生が読める程度の文章を想定し、必要な箇所に入れる予定です。 ・点字版については、イラスト中心の構成となっており、冊子の点字版を作成するよりも、別途イラストの説明・解説をホームページなどに掲載し、読み上げソフトなどで読んでいただくほうが視覚障害のある方にも伝わりやすいのではないかと考えています。
J委員	全体	・前回より読みやすくなっていると思う。ただ、絵本として配布するならば「文字と絵」が全体のレイアウトに対してごちゃごちゃ感がある。 ・資料5「ストーリーと考え方」を読み、説明もあったため、私たちは把握できているが、絵本だけではまだ何が言いたいのか、何度か読み返さないと分かりづらいと感じている。対象者が市民全体（若年層から高齢者まで）であるならば、一度読めばこの基本構想を誰もが理解できるほうがよい。また、何度も読みたいと思えるものを希望する。見づらい本は読み返さないため、もう少しすっきりさせると良いと感じた。	・ラフ画であることと、仮のフォント・吹き出しなどを用いているため、メリハリが弱く、ごちゃごちゃした印象を与えますが、イラストや全体デザインを仕上げていく中で、現在よりもすっきりとしたものになる予定です。 ・情報量の多いページなどは、現時点で可能な修正は行い、誰が読んでも一読して大きな流れが分かるよう、文章を再度整理します。
	全体	・もし今からでも大きな構成の変更が可能なら、ストーリーは現在を起点としたほうが理解しやすい。 【例】 ①現代の子が未来宣言をする ②未来にタイムスリップをして「今このようなまちづくりを始めれば未来はこんなに幸せに暮らせるんだ」と感じる（未来の人にインタビューする姿があってもよい） ③現代に戻って未来のために「さあ今、をタネを撒きましょう」と未来宣言を掲げて行動を始める（タネを撒こうとPR） ※次世代へも引き継がれ、次の新しいタネを撒いている姿も記載できるなら、裏表紙のように次世代の姿を妄想または行動している様子を描く。 ・構成の変更が難しい場合は、次のようなストーリーもありかと思う。 ①表紙 ②P7～8（2021年）へタイムスリップ ③P1～2（未来）に戻り、市民の愛着心や幸せな暮らしを空から見る ④P3～6 ⑤（必要なら）P9～10（2021年）分野別取組宣言でどのようなことをしてきたのかを再確認する ⑥裏表紙で、次世代での種まきを始める姿などを描く	・構成の変更は難しいです。 ・また、時間軸を行き来しすぎると説明が増えるため、「幸せな未来」→どうやって生まれたのかを現在に戻って見てみる→「現在の市民の努力」→未来に戻り、次世代へと想いを受け継ぐ」という一連の流れはこのままとし、時間軸をより明確にすることと、文章を再度整理することで、より流れが分かりやすくなるようにします。
	P1～2 未来の大竹の様子	・孫（男）の言葉「…に住んでいたんだね」は「…に住んでいるんだね」のほうが時制でイメージしやすい。（未来の子が今住んでいる市を見ての感想であるため。「住んでいた」と過去形のように感じる。）	・修正します。
P9～10 分野別取組宣言	・読みやすくする例として、大区分（分野）の文字を大きくする。P7～8の未来宣言の取組内容と同様の内容が書かれているため「生活・環境」などの文字を大きくし、逆に取組内容（～なまち）は小さくする。（今と逆のイメージ）	・修正します。	